

8月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表－1 参照）

8月分の販売電力量の合計は、62億kWh、対前年比96.7%の実績となり、前年に比べ検針期間が長かったものの、7月中旬から8月上旬にかけて前年よりも気温が低く推移したことによる冷房需要の減少や契約電力の減少などから、前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○電灯

電灯は、前年に比べ検針期間が長かったものの、7月中旬から8月上旬にかけて前年よりも気温が低く推移したことによる冷房需要の減少などから、対前年比97.4%と前年実績を下回りました。

○電力

電力は、契約電力の減少などから、対前年比96.4%と前年実績を下回りました。

（表－1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区 分	当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 比 (A/B)
電 灯	1,767	1,814	97.4
電 力	4,432	4,600	96.4
合 計	6,200	6,414	96.7

※個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2. 供給力について（表－2 参照）

8月の発受電電力量の合計は、69億2,800万kWh、対前年比99.8%の実績となり、前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率94.5%の渇水となったが、前年出水率を25.1%上回ったことなどから、発電量は前年を7,100万kWh上回る5億3,200万kWhとなりました。

（自社火力）

自社水力が増加した影響などから、発電量は前年を9,900万kWh下回る48億5,500万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を100万kWh下回る、8,000万kWhとなりました。

（他社受電）

太陽光が増加した一方で他社火力は減少したことなどから、他社受電合計では、前年並みの21億7,100万kWhとなりました。

(表－２：発受電電力量)

(単位：百万kWh、%)

区 分			当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)
自 社	水 力	自 流 式	486	414	72	117.6
		貯・揚水式	46	47	-1	97.7
		計	532	461	71	115.5
	火 力		4,855	4,954	-99	98.0
	原 子 力		0	0	0	-
	新エネルギー 等		80	81	-1	98.7
	合 計		5,467	5,496	-29	99.5
	他 社 受 電			2,171※	2,158	13※
融 通			-708※	-708	0※	99.9※
揚水用動力			-2	-5	3	40.1
発電受電合計			6,928※	6,941	-13※	99.8※
出 水 率			94.5	69.4	25.1	-

※新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以上